

Happy Direct Program

ハッピーダイレクトプログラム

【はじめに】

はじめまして。常森さつきです。

この度は、プログラムにご参加いただき
ありがとうございます。

私は、このプログラムをうけてくださったあなたに、

「願いを引き寄せてもらいたい」

「本当に幸せになってほしい」

という思いで、この教材を作りました。

あなたが望む、希望に満ちた未来を引き寄せるために、
できる限りのことを全力でしていく覚悟でいます。

一緒に、幸せをつかんでいきましょう。

プログラムの進め方

このプログラムは、

「はじめに」と「基礎編」、
そして、8つの章からなる、
10のカリキュラムでできています。

一つひとつが濃い内容になっているため、
一度に全てカリキュラムを受けることは難しいと思います。

また、5つの鍵を受け取っていただくために、
頭を使って考えていただくこともございます。

なので、1日1章のペースで
進めていただけたらと思います。

今日は、「はじめに」だけ、
明日は、「基礎編」という感じで
最低でも10日間かけて進めてください。

もちろん、それ以上ゆっくり
やっていただいてもかまいませんよ。

あなたのペースで進めてくださいね。

それではさっそく始めましょう。

私は終わったと思った瞬間

さて、世の中には、
本当に「幸運」に恵まれた人がいます。

そういう人を見ると、
羨ましくて、恨めしくて…、

そんな感情があふれてくる人もいます。



また、自分とは住む世界が違っていると
考えてしまうかもしれませんね。

実は、以前の私がそうでした。

自分のやりたいことを仕事にしようと、
勤めていた会社を辞め、
転職したものの、

職場でのいじめに合って、
結局、辞めてしまったときには、

「これで私は終わった」と思いました。

この転職をするまでには、学校に行って資格を取ったり、
英語を学んでみたり、私なりの努力をしていたのです。



そのうえで、

「ここなら」と思える会社に出会ったとだけ思っていただけに、
大きなショックでした。

大きな期待を持って入った、その会社で、
私は、とんでもない人に出会ってしまったのです。

その人は、私の電話応対にダメ出しをするだけでなく、
「笑顔が足りない」
と普段の顔の表情にも文句を言い、

挙句の果てに、

私が自分で作ったサンドイッチのお弁当にまで、



「そんなスーパーで売っているような
パンを食べるなんて、あり得ない」

と言って、難癖をつけました。

結局、私はその人のいじめに耐えられず、
誰もかばってくれない状況が続き、
その職場の雰囲気になんて耐えられなくなって、
会社を辞めてしまいました。



このときは、過去を振り返り、

「最初に就職した会社にいたら、
それなりの生活があったかもしれないのに」

と、ずいぶん後悔しました。

精神的に立ち直るのに時間がかかりましたし、
生活を立て直すのもたいへんでした。

引き寄せの法則との出会い

その体験のなかから、
なんとか這い上がろうとしていた時期、

私は、なんとかして
自分にもっと幸運がやってこないものかと、
考えるようになりました。

今、考えれば、ちょっと脈絡もなく、
メチャクチャにも思えるくらい、
本当にたくさんの方を試しました。

あちこちのパワースポットに行ったり、
神社巡りをしたり、
効果があるという水晶を身につけたり、



運気を上げる水があると言うので、
遠くの山まで水を汲みに行ったり…。

当時は、何かにとりつかれたように、
動き回っていたような気がします。

そういうことに加えて、
自己啓発に関する本もたくさん読みました。

「引き寄せ」という言葉に初めて出会ったのも、
その頃だったと思います。

引き寄せの法則への不信感

実際に、その頃
「引き寄せの法則」を試している人の話を
聴いたことがあります。

私が話を聴いた人は、
「銀座にビルを建てる」と言って、
そのことを書いた紙を冷蔵庫に貼っていたのですが、

私には、その人が
自分が銀座にビルを建てることを
心の底から信じているようには、

とても感じられませんでした。



ただ

「あくせくしないで生活できるようになりたい」
ということを、

「銀座にビルを建てる」

と言い換えているようにしか聞こえませんでしたし、

ありもしない妄想を口に出しているだけで、
それが現実になるとは、思えませんでした。

ただ、「引き寄せの法則」の本も含めて、
試してみた方法は、どれも、

その場、その場ではなんとなく納得する部分もあり、
良い方向に向くような気がしていました。

しかし、実際には、生活そのものに、
はっきりと変化が現れることはなかったのです。

こんな風に、とっかえひっかえ
いろいろなものに手を出していた私ですが、
幸せになりたいという気持ちは強く持ち続けていました。

催眠療法と出会い 奇跡が起き始める

そんな中で出会ったのが催眠療法でした。

催眠療法と一口に言っても、
さまざまな技法がありますが、

私が受けた講座は、

NLP(心理学と言語学を融合させた心理療法で用いられる学問)で
よく取り上げられている

ミルトン・エリクソン氏の催眠療法を
日本人に受け取りやすく翻案したものでした。

今では、その時習った先生は亡くなってしまいましたので、
とても貴重な講義を受けたと思っています。

その講義では、講師の先生が、
実際に受講生に言葉をかけることによって、
催眠状態を作り出すのですが、

それは、普通に椅子に座った状態でもできるものでした。



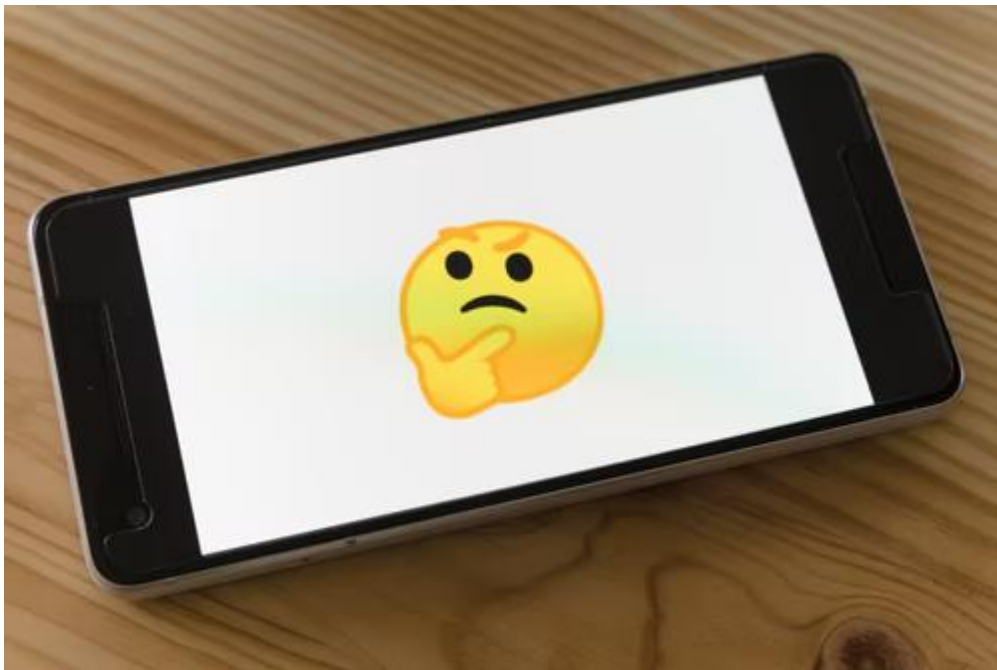
ベッドも必要ありませんし、
特別な装置もありません。

声を聴いているだけで、
とても安心した、ゆったりとした気持ちに
なることができます。

この講義を受けている間に、
私の中に小さな変化が起こり始めました。

転職で失敗してしまったことで、
自信をなくし、
自分の価値を見失っていた私が、

少しずつ、自分を肯定的に
受け止めることができるようになってきました。



私にもできることがある。

私には、私にしかない価値があり、
何にも取り替えられない、
唯一の存在であることが、

次第に、はっきりと、
そして深いところで理解できるようになったのです。

そうしたところ、
小さなラッキーが起こり始めました。



転職する前の、
自分から辞めてしまった会社から、
「もう一度、仕事をしてみませんか」
という連絡が入ったのもこのころです。

また、催眠療法の先生からも、
「今度、ある企業のカウンセリングを頼まれたので、
従業員の方のヒアリングに参加してみませんか」
と声をかけてもらいました。

小さなラッキーと書きましたが、
決して小さくないですね。

私にとっては、とても大きなラッキーが、
少しずつ、それも着実に増え始めたのです。

願いを引き寄せるために必要なもの

そんなことが繰り返し起こるにつれて、
私は気づきました。

それは、幸せを引き寄せるためには、
いくつかの「コツ」のようなものがあり、
コツをつかむには、それぞれ「鍵」が必要だということ、

そして、
催眠療法で使う「言葉かけ＝声によるリード」によって、
無意識を活性化させることが必要だということです。

この気づきによって、
私は、この講座でご紹介する
「幸せをつかむ方法」を学び、
身に付けることができたのです。

そのおかげで、今では、

やりたい仕事ができ、

自分が関わりたい人とだけ関わることができ、

必要なものは、必要なときに与えられ、

おだやかな気持ちで毎日を過ごし、

家族との生活を楽しめるようになっていきます。

あなたの可能性を引き出します

こんな風に、幸運に恵まれるようになったので、
今では、過去のような感情になることはなくなりました。

あなたも、今日からは
そんな人を羨むような気持ちと
「さよなら」してください。

あなたの中にも、

「幸せになる力」

「幸運を引き寄せる力」

が必ずあります。

そんな、あなたの中に眠っている力を引き出して、
あなたに幸せになってほしいのです。



そのために、
これからお伝えしていくステップ、

そして、
「声によるリード」を聴いていただいて、

あなたが幸せになるお手伝いをしたいと思います。



一緒に幸せになりましょう。

常森さつき